

学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル

1. 学校における新型コロナウイルス感染症対策の考え方

○本マニュアルで示す行動基準を参考としつつ、「新しい生活様式」への円滑な移行と児童生徒等及び教職員の行動変容の徹底を図ることによって、感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減しつつ、教育活動を継続し、子供の健やかな学びを保障していくことが必要。

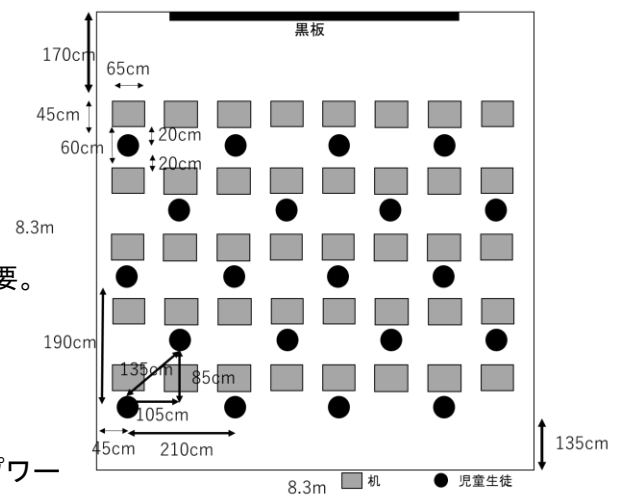
「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準

地域の感染レベル	身体的距離の確保	感染リスクの高い 教科活動	部活動 (自由意思の活動)
レベル3	できるだけ2m程度 (最低1m)	行わない	個人や少人数でのリスクの低い活動で短時間での活動に限定
レベル2	できるだけ2m程度 (最低1m)	リスクの低い活動から 徐々に実施	リスクの低い活動から徐々に実施し、教師等が活動状況の確認を徹底
レベル1	1mを目安に学級内で 最大限の間隔を取る	十分な感染症対策を 行った上で実施	十分な感染症対策を行った上で実施

※どの感染レベルに該当するかは、児童生徒等及び教職員の生活圏におけるまん延状況に基づき、5月14日の専門家会議提言で示された地域区分(①特定(警戒)都道府県、②感染拡大注意都道府県、③感染観察都道府県)を踏まえ判断。

2. 学校における基本的な新型コロナウイルス感染症対策

- ・基本的な感染症対策の徹底及び集団感染リスクへの対応を実施(「3つの密」を徹底的に避ける)。
- ・レベル2・3地域(1クラス20人程度)の場合、教室での座席設置については右図のイメージ。
この場合、異なる教室や時間で指導を行う等の対応が必要。



3. 具体的な活動場面ごとの感染症予防対策

(1) 各教科等について

児童生徒が長時間近距離で対面形式となる「グループワーク」、室内での近距離での「合唱」、近距離での「調理実習」、「密集する運動」など「感染症対策を講じてもおお感染のリスクが高い学習活動」は、レベル3の地域では行わない。レベル2の地域ではリスクの低い活動から徐々に実施することを検討。レベル1では可能な限り感染症対策を行った上で実施。

(2) 部活動

レベル3の地域ではなるべく個人での活動とし、少人数で実施する場合は十分な距離を空けて活動。密集する運動や近距離で接触する活動は行わない。レベル2ではリスクの低い活動から徐々に実施することを検討。レベル1では可能な限り感染症対策を行った上で実施。

(3) 学校給食

感染リスクに配慮しつつ、例えば、レベル3の地域では、配膳の過程を省略できる品数の少ない献立の提供等の工夫を講じて実施。

(4) 図書館

図書館利用前後の手洗いを徹底し、図書館内で密集が生じないように配慮した上で貸出機能を維持。

(5) 登下校

登下校時間帯の分散等を行うことや、集団登下校を行ったり、スクールバスを使用したりする場合に「3つの密」を避けるための工夫や指導を実施。